

### 令和5年度 学校評価結果まとめ

※ここでは、「4とても思う」と「3どちらかというと思う」の合計を点数化して表しています。

評価項目	質問	児童	保護者	教職員
組織運営	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に運営し、「児童に幸せな未来を拓く力をつける」学校づくりに取り組んでいる。	94.1	85.0	100.0
	学校は、安全教育の推進と事故防止に努めるとともに、問題発生時に迅速に対応している。		84.0	100.0
	学校は、組織的に環境美化に努めている。		93.0	93.5
学力の向上	学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう授業を展開している。	95.8	87.5	100.0
	学校は、各教科等の指導において、言語活動を重視した授業を展開し、児童の言語能力を高めている。	80.4	75.5	100.0
	学校は、生活科、総合的な学習の時間及び特別活動を中心に、体験活動を展開している。		89.0	96.8
	学校は、タブレット端末等ICTを活用した授業の充実に努めている。		81.5	100.0
豊かな心の育成	学校は、児童が友達や教職員、来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。	90.8	77.0	100.0
	学校は、児童が場に応じた言葉遣いができるように指導し、成果を上げている。		73.0	96.8
	学校は、児童がいじめをすることなく助け合って学校生活を送れるよう、学年学級づくりに取り組んでいる。		78.0	90.3
	学校は、親身になって相談しやすい体制をつくるとともに、問題が生じた際に迅速に対応している。	94.9	80.5	93.6
	学校は、教職員自ら手本となり、児童に対して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導を行っている。	88.9	79.5	100.0
増進 心身の健康の保持	学校は、児童の体力向上に向けて、体育や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導にあたっている。	82.1	86.0	100.0
	学校は、計画的に健康教育を推進している。		84.0	100.0
保護者・地域との連携	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者及び地域と連携協力している。		85.0	100.0
	学校は、教育活動の様子や、成果、課題等について定期的に情報提供している。		90.0	100.0
	学校は、学校応援団組織を充実させるとともに、保護者及び地域と連携した教育活動を展開している。		70.0	100.0
	学校は、小中一貫教育の本格実施に向け、保護者及び地域に情報発信するなど、理解促進のための取組を進めている。		81.0	93.6

※グラフ凡例

## 学校評価について(令和5年学校運営協議会でのご意見から)

### ○あいさつについて

- ・児童会の取組、当事者である児童自身が考えて解決に取り組んでいるのが素晴らしい。
- ・学校の外に出ると挨拶できないのは、対象の母体が大きくなるせいもある。挨拶しても返さない大人もいて、あいさつすべきかどうか難しい。保護者、地域のかかわり、支援が必要である。
- ・保護者は学校よりも広い空間で子供をとらえているため、できていない部分も大きく見える。求めるレベルも高くなるのかもしれない。

### ○「わからない」の数値について

- ・学校応援団について「わからない」との回答がとても多かった。発信していくことは工夫してほしい。
- ・「わからない」の項目を入れたのは良かった。保護者の捉え方が見えやすい。  
わからないのレベルにもいろいろある。関心が薄いのか、保護者にとって活動が見えにくいのか。「言葉づかい」に関してもわからないが多いというのが驚いた。

### ○生活科、総合的な学習の時間、特別活動への教職員の評価が例年低かったのが上がっている。

- ・先生方の授業力が高まり、工夫がよりできるようになっているのでは。
- ・地域と連携を深め、活動を深めていることが功を奏しているのでは。

### ○小中一貫について

- ・小中一貫を行う目的があったはず。組織的枠組みや手段ばかりが提示されているように感じるが、到達したいところ、ゴールイメージは持っているのか。目的地までのロードマップが描けているのか。
- ・令和7年の完全実施に向けて、令和6年は何をするのか、もっと伝えてほしい。  
保護者、地域は何をすればよいのか。

### ○児童アンケート「先生は話しやすい」の数値が非常に高い。志木三小の先生方のきめ細かな指導の賜物である。

ここまでの結果をもとに学校関係者評価を実施し、評価のまとめをいたします。

まとまりましたら、お知らせいたします。